

令和4年度 理科教育功労賞 受賞者（兵庫県）

「令和4年度全国理科教育大会 北海道大会要項」より

現・神戸市立神戸工科高等学校 校長 常深 俊規

常深先生は平成元年に神戸市立高等学校の理科教諭として奉職されてから、定時制工業高校教頭、続いて普通科SSH校の教頭として、管理職として本県の理科教育の発展に取り組まれ、多数の生徒や理科教員を育ててこられました。現場での教務部長時代には、定時制の新たな学校の仕組みに理科実習を数多く取り入れ、高校生が主体的に参加できる授業の構築を行ってきました。また県下における「青少年のための科学の祭典」の実行委員として長年、企画・運営され、今では県内の数多くの高校生の交流の大会となっています。平成29年度から兵庫県高等学校教育研究会科学部会副会長を務められてからも、実験を中心とした生徒の興味・関心を湧かせる工夫を校内外で続けられ、会の発展はもとより、後進の育成にも力を注がれています。このように、兵庫県の理科教育の発展だけでなく、活躍には顕著なものがあると認められ、長年の多大なご功績に教育功労者として推薦いたします。

現・兵庫県立舞子高等学校教諭 壺井 宏泰

壺井先生は昭和63年に兵庫県立高等学校の理科教諭として奉職されてから、34年間教育現場で、実験を中心とした生徒の興味関心を湧かせる工夫を実施され、多数の理科好きな生徒を育ててこられました。兵庫県高等学校教育研究会・科学部会において常任幹事として会の運営に貢献するとともに、理科教育に関する多数の研究発表をされ、日本理化学協会総会・全国理科教育大会でも2回発表されました。また、中堅教諭資質向上研修や若手から中堅理科教員のための観察・実験講習会において講師をされ、後進の育成にも力を注がれています。さらに平成30年4月から2年間、マラヤ大学予備教育部日本留学特別コースに文部科学省から派遣され、日本留学を目指すマレーシアの学生に対する物理教育に尽力されました。兵庫県だけでなく、海外での理科教育にも貢献され、その活躍には顕著なものがあると認められ、長年の多大なご功績により教育功労者として推薦いたします。